

※一部非公開

令和五年度入学試験問題 (前期日程)

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆(シャープペンシルを含む)書きにすること。

非公開

問
題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(ドミニク・チェン、『未来をつくる言葉 わかりあえなさをつなぐために』、新潮社、二〇二〇年、六一―七五ページ、抜粋・一部改変)

問一 傍線部はどのようなことを表しているのか、筆者の論旨に沿って六〇〇字以内で説明しなさい。

問二 問一をふまえて、あなたの考える「環世界」と「シンクロシティ」「共時性」について、具体例をあげて六〇〇以内で論じなさい。

令和五年度入学試験問題 (前期日程)

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

出題の意図

琉球アジア文化学科は、琉球・沖縄および日本、アジアの諸地域の言語・文学・歴史・民俗への理解を深めることを目指している。したがって、本学科の入学希望者には、これら諸地域の文化への深い関心はもとより、そうした文化を生み出す社会の仕組みへの持続的な探究心が要求される。問題文は、高度情報化が進む現代社会において、「環世界」とは何かを、具体的な事例から多角的に論じたものである。本出題の意図は、論旨を正確にとらえる読解力と、問題文における「環世界を表現する」という主題をふまえて、自身の言葉で説明できるかを問うことにある。加えて、本文で示された「環世界」の議論をふまえて、人それぞれの「環世界」がどのように共振しうるのかについての自身の考えを論述させ、受験生の発展的な思考力や論理構成力、言語表現力をみることにある。